

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

産 業 建 設 委 員 会

開 催 日：平成29年3月9日(木)

開催時間：9時57分～15時38分

開催場所：議会全員協議会室

【委 員】笹田委員長、飛野副委員長

串崎委員、布施委員、牛尾博美委員、原田委員、牛尾昭委員

【委員外】足立、柳楽、小川、森谷、野藤、芦谷、佐々木、道下、田畑、西村、澁谷

【議長団】議長、副議長

【執行部】

(産業経済部) 中村産業経済部長、田村産業経済部参事、来原産業経済部企画監、村武産業政策課長、竹中産業振興課長、井上ふるさと寄附推進室長、佐々木広島市場開拓室長、川神農林振興課長(併農委事務局長)、佐々本農林振興課副参事、吉田水産振興課長、石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

(都市建設部) 下垣都市建設部長、河野建設企画課長、吉川建設整備課長、吉田地籍調査課長、坂田維持管理課長、佐々木建築住宅課長、西川建設庶務係長

(金城支所) 吉永金城支所長、畑金城支所産業建設課長

(旭支所) 田村旭支所長、今田旭支所産業建設課長

(弥栄支所) 細川弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

(三隅支所) 斎藤三隅支所長、永井三隅支所産業建設課長、吉野三隅支所防災自治課長

【事務局】 鎌原書記

議 題

- 1 議 案 第 6 号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について
- 2 議 案 第 12 号 浜田市石州和紙会館条例の制定について
- 3 議 案 第 13 号 浜田市運動広場施設条例の一部を改正する条例について
- 4 議 案 第 14 号 市道路線の認定について(有福56号線外)
- 5 請 願 第 45 号 雲雀丘小学校「落石注意」生活道路の安全確保に関する請願について
- 6 所管事務調査
 - (1) 創業セミナーの実施状況について
 - (2) 三隅発電所2号機建設に伴う受注希望調査の状況について
 - (3) 海底資源開発の状況について
 - (4) 元谷団地の応募状況について
 - (5) しまねお魚センターの状況について
 - (6) (一社)浜田市観光協会の事務局長について
 - (7) きんたの里の現状について
 - (8) 旭温泉水有効活用起業家の現状について
 - (9) ゆうひパーク三隅の現状について
- 7 執行部報告事項
 - (1) 「事業承継に関するアンケート調査」実施状況について
 - (2) 広島市場開拓室の事務所移転について
 - (3) 漁業別水揚げについて

- (4) 浜田漁港水揚げ資料（2016年報）
 - (5) 平成28年 宿泊者数について
 - (6) 弥栄町獣肉加工処理施設整備に係る補助金返還について
 - (7) 浜田市住宅マスタープラン(案)のパブリックコメント実施結果について
 - (8) その他
- 8 その他

【議事の経過】

〔 9時 57 分 開議 〕

- 笹田委員長 ただいま、出席委員は7名で定足数に達しております。直ちに本日の委員会を開催いたします。
- 森谷議員から、本日の会議のビデオ撮影許可の申出がありました。このことについては、浜田市議会委員会傍聴規程第5条、傍聴人の写真、映画等の撮影の禁止規定により、許可しないということによろしいでしょうか。
- （「異議なし」との声あり）
- 笹田委員長 次に、委員外議員として、執行部報告事項の「（2）広島市場開拓室の事務所移転について」、発言を求められています。
- このことについては、議会申し合わせ事項で委員会においてのみ一人1項目、申し出できることとしていますが、浜田市議会委員会条例第45条第2項において、委員会は委員でない議員から発言の申し出があったときは、その許否を決定することになっています。よって委員外議員の発言を認めるかどうかを諮りたいと思います。
- 森谷議員の発言を許可することにご異議ありませんか。
- （「異議なし」との声あり）

1. 議案第 6号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について

- 笹田委員長 執行部から補足説明がありますか。
- （ なしとの声 ）
- 笹田委員長 委員から質疑はありますか。
- 原田委員 1点ほど確認させていただきたいのですが、提案説明資料の中ほどに記載してあるのですが、登録建築物エネルギー消費性能判定機関とあるのですがこれはどこが判定することになるのでしょうか。
- 建築住宅課長 国において登録機関の公表がありませんが、改正前の今のエネルギー関係の登録建築物調査機関がありますが、その機関が手を上げられて登録されるのではないかと考えております。
- 笹田委員長 その他、委員から質疑はありますか。
- （ 「なし」という声あり ）
- ではこの件については以上とします。

2. 議案第12号 浜田市石州和紙会館条例の制定について

- 笹田委員長 執行部から補足説明がありますか。
- （ なしとの声 ）
- 笹田委員長 委員から質疑はありますか。
- 布施委員 議案質疑でも西村議員が現行と改正後の利用料金のところで質疑がありましたが、今まで、半日、1日コースを設けていたが利用がなかったということで、一人当りの使用料に変えたということがあったが、その確認と備考に特別な費用を要する材料または方法による手漉き和紙体験を行う場合はその実費を徴収することなののですが、三隅は小中学生の卒業生が体験和紙漉きをして自分の卒業証書にしていますが、その事例でしょうか。それともここにあるA3判がちょうど卒業証書の大きさなのでそのことでしょうか。
- 三隅防災自治課長 半日、1日コースのことですが、今までそういった体験がありませんで

	した。昨年度まで指定管理者として受けておられた石州半紙技術者会とも協議をして現状にあった料金価格とすることで省略させていただきました。卒業証書ですが三隅自治区また浜田市内でも雲雀丘小学校、松原小学校、今福小学校やこられない学校に対しては出張ということで指導に行かれています。先ほどの備考欄のことですが、付け染め和紙というものに対しての原料分を加味した利用料金をいただくということです。
布施委員	卒業証書のことはわかりましたが、指導、材料費がかかると思いますがこれについてはいままでどうやっておられたのですか。
三隅防災自治課長 布施委員	卒業証書については、学校についてはもらっていません。 教育委員会から色々と捻出されると思いますが、利用料金は個人に対してはわかるのですが、中学校などの団体ですが、三隅は和紙を通じて広島県熊野町とも交流がありますし、和紙サミットなどの団体がこられて利用されると思いますが、現行も改正後も団体利用に対して明記がないようにと思いますがその辺の検討がされたかどうかお伺いします。新旧対照表を見ると書いてないですが、新しくなっても明記されないんですか。
三隅防災自治課長	技術者会とも相談しました。小川町、美濃市の条例も見ましたが団体扱いというのはなく、個人でということでした。
笹田委員長 牛尾昭委員 三隅防災自治課長	その他。 半日コースと1回という時間、どのように時間差があるのでしょうか。 今まで半日コースはありませんでしたが、半日を概ね4時間、1日を8時間と想定していました。
笹田委員長 三隅防災自治課長 牛尾昭委員	1回はどれくらいですか。 だいたい紙すきは1時間あればハガキ程度のものが漉くことができます。 岩国方面のインバウンドの関係で英語圏の方が団体でこられて和紙体験良かったと言われていました。年末に大学の中国圏報告書を見ると和紙体験が非常に良かったという報告も上がっています。通訳を交えてユネスコの和紙の英語で伝えないと本来の良さが伝わらないとインバウンドの中で言われています。特に英語圏の方の利用が増えると思います。利用者が窮屈な思いをしないよう考えないと。1回の利用が1時間、2時間、3時間でも1回でいいのか。英語圏の方は特にその辺のわかりやすいメッセージが必要だと思います。ユネスコの和紙がいかに大変なものか、多言語での説明が必要になってくると思います。
三隅防災自治課長	韓国語、中国語、英語のパンフレットを訳したものがあります。職員に一時期アメリカにおられた方がいますので、その方は英語が堪能です対応ができると思っております。
牛尾昭委員 三隅防災自治課長 笹田委員長	その方はユネスコの価値について英語で説明が可能なんですね。 確認はしていませんが可能だと思っています。 他にありますか。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。

3. 議案第13号 浜田市運動広場施設条例の一部を改正する条例について

笹田委員長	執行部から補足説明がありますか。 (なしとの声)
笹田委員長	委員から質疑はありますか。

布施委員	市木はこのたび新たに設置して、弥栄が市長部局から教育委員会に所管が変わるのですが、利用料金について波佐は1団体1人につき540円とか54円ありますが、これについては消費税が入ってこのようになっていると思いますが、市木については一区画や1日あたり1200円、300円とありますが消費税が入ってないように感じますがその違いについてお聞きします。
旭産業建設課長	消費税が次期10%になると想定しており、現在の8%では想定して設定していません。
布施委員	現在はしていないというのはわかるのですが、これ4月からやるんでしょう。その間の10%になるまではどうされるんですか、内税ですか。
旭産業建設課長	そうです。10%になる際には2%上乘せした金額になります。
布施委員	8%のときには8%の税をつけて、変更後にやるべきだと思うんですが。
旭産業建設課長	仰ることもわかりますが、うちで検討した際には10%になった時に2%分を上乘せするという事で今回提示をさせていただきました。
笹田委員長	2%上乘せするという事は、10%になったとこにこの数字を2%上げることですか。
旭産業建設課長	正直申し上げますと、8%の、例えば屋根付催事スペースですと200円の8パーセントで216円という数字を載せるのはどうかというのがありまして、内税200円という分かり易い数字にしました。
布施委員	分かります。分かりますが、波佐は54円とか実際取っているわけです。既存施設の例があるのですから検討して。利用料金が安い高いというのではなく、市木ふれあい広場は健康増進やスポーツ振興のために使っていたかどうかというのが大前提ですので正直に料金設定して、次に税が変更された時もこうしますとやった方が利用者にとっては良いと思います。波佐と比べた場合には個人では税を取って、区画単位だと税を取らないのかと誤解をしました。ぜひとも正直にやっていただきたい。
牛尾昭委員	類似施設があると思いますが、その辺との料金の並び方はどうですか。多目的保管庫というのがあります。おそらくロッカーか何かで1時間あたり300円とありますが、安い所もあれば異常に高い設定もあります。参考事例があれば示してください。
旭産業建設課長	多目的保管庫は面積150平米くらいで、地元の方の運動会とか元々小学校の備品類を保管する保管庫でした。1時間300円という使用料は倉庫の中の一面に8畳くらいの管理室が備えてあります。これは運動会や運動場で催しがあるときの本部室に使えるということで旭支所の市民体育館のミーティングルームの使用料が300円ということなのでそれと同等だろうと判断しこのように定めています。
笹田委員長	類似施設を参考にされたということですか。
旭産業建設課長	体育館のミーティングルームと丁度似ているので参考にしました。旭自治区内で同等の施設というとは他にはございません。
牛尾昭委員	美川地区農村広場というのがあります。市内で同等の施設と料金比較してこの設定にしたのだらうなと思ったので。運動場を使う場合、荷物もってくれば保管庫を使わなくてはいけないというのは、実質的に荷物を持ってイベントに行けば保管庫の料金と使用料と合算してかかると思います。ちょっと高過ぎるのではないですか。実質4800円くらいになりますよね、高過ぎる気がします。
旭産業建設課長	市木ふれあい広場は、外部からの使用がないということの想定はしてい

牛尾昭委員

笹田委員長

ませんが、主に市木地区の方が使われる方を想定しており、減免規定を設けています。グランドゴルフ大会等で外部からの使用があった際は保管庫も利用されると思います。確かに利用料はそれなりの金額になって高い雰囲気があるかもしれませんが、催事スペースなどを利用いただければと思っております。

利用規定の減免は規則で謳うと言われましたが、市長は特に減免を認めるというのは、これを見る限りでは読み取れませんが問題はないんですか。減免規定が分かるものがあれば申請したいんですが資料は出せますか。暫時休憩します。

[10 時 20 分 休憩]

[10 時 24 分 再開]

笹田委員長
旭支所長

再開します。旭支所長。

減免の部分については現行の浜田市運動広場設置条例の第10条に使用料の減免が謳ってあります。これには規則の定めるところにより使用料を減額、または免除することができるということがあります。今回市木ふれあい広場を追加した条例が可決したあかつきには改めて規則を改正することによってその中に減免する規定が1項追加されることとなります。基本的には地元の方が利用される場合は無料とするよう検討しております。今の段階では正式にはできてはいません。

牛尾昭委員

さらに聞くと市木の方は無料になるけど市木以外の方は無料にならないということですか。

旭支所長
笹田委員長

旭自治区民ということです。

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ないようなのでこの件は終了します。

4. 議案第14号 市道路線の認定について（有福56号線外）

笹田委員長

執行部から補足説明がありますか。

(なしとの声)

笹田委員長
牛尾昭委員

委員から質疑はありますか。

過半、現地視察しました。それぞれの箇所について問題無いということを確認いたしました。

笹田委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

5. 請願第45号 雲雀丘小学校「落石注意」生活道路の安全確保に関する請願について

笹田委員長
布施委員

委員から執行部に確認したい点などあればお願いします。

この請願は、通学路の請願と酷似しています。今までの請願部分で、地元住民等の要望もあって対応している所はしているという回答が前回でしたが、このたびは生活道路として請願が出ています。箇所別に聞きたいと思います。

維持管理課長

この現場については私どもも何度か確認しています。1から3番まであり

	ますが、1番は確かにカーブミラーが見難いですが、当時担当者が苦労して角度調整した痕跡も見受けられます。幅員の拡幅となると高低差がある関係上、すぐ維持の担当での対応が難しいと思います。建設整備課の方と検討中です。2番目の落石防止ネットですが確かに平成9年から10年にかけて災害防除事業でされたものです。当面の落石については100%安全とは言えませんが安全性が高いのではないかと思います。3番については、テニスコートに面したガードレールについては外の形状が変わっているため、平成29年度に何らかの対応を検討しています。
布施委員	地元住民の要望もあって、長年の優先順位もあって対応されたのだろうと思います。こういった箇所では地元住民の要望が挙がっていたんですか。今回の請願が全く同じかどうか伺います。
維持管理課長	災害防除事業を行った頃から地元の要望が出ていたのは伺っています。ネットにも落石が落ちて来たと把握しています。生活道路でもありますし、何らかの対応が必要ではないかと考えています。
笹田委員長	その他ありますか。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。

6. 所管事務調査

(1) 創業セミナーの実施状況について

笹田委員長	執行部から報告をお願いします。産業政策課長。
産業政策課長	(以下、資料をもとに説明)
笹田委員長	説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
布施委員	新しい方の創業と1回リタイアした人のシニア向け創業は大変良い取り組みかと思います。実際に創業された方とそうでない方がいます。受講したけど創業に至っていないのは、資金面や場所等の問題があるかと思いますが、問題点を把握されていますか。
産業政策課長	全ての方に個別にうかがってはいませんが、女性向け企業セミナー内で出てくる話は、資金や検討中という方がおられました。
布施委員	機が熟してない、検討中というのは分かりますが、それを後押しするのが行政だと思います。商店街の賑わい創出の支援をしているということでしたが、空き店舗を紹介したりできることがあると思います。セミナーとは別に行政としてのアドバイスはされていますか。
産業政策課長	空き店舗へ入居するための補助金等の情報は提供しています。
牛尾昭委員	総受講者はダブりがあるので80名、そのうち8名起業で1割です。それが高いか低い、見識をうかがいます。
産業政策課長	低い創業率だと考えています。
牛尾昭委員	このくらいのセミナーで1割の人が企業すれば結果オーライだと僕は思っています。女性セミナーはだいたい子育てが終わって何かしたいなと思う方が多いのだと見受けられました。起業出来なかった方に共通する問題点があれば教えて欲しいです。
産業政策課長	資金等の理由があります。順位を付けた資料は手持ちにないため、後ほど資料提供させてもらってよろしいでしょうか。
牛尾昭委員	順位は良いです。例えば、もう少し起業までいきそうな方がこの中にいらっしゃると思います。担当課としてどう掴んでおられるか知りたいです。

産業政策課長	また、シニアの方の起業が多いのかなと思って期待していたのですが、意外と起業される方がいないのがっかりしました。シニアセミナーで起業しにくい壁があるだろうと思いますが、その辺は掴んでおられますか。
産業政策課長	シニアセミナーに出席された方はこちらに書いてあるとおりです。現在仕事をされながら、将来リタイアした時のための創業を目指しておられますし、あるいは現在リタイアされて今からの道を模索されている方もおられます。ハードルとなっているのは資金面、あるいは開業場所、もっと言うところ創業セミナーで力を入れてやるのが原価計算や、最終的に利益が見込めるかに力を入れてやっています。そこで将来性が見込める方には力を入れますが、集客できる見込みがないと認知された方には、事業計画の練り直しを講師先生とされています。起業意思を捨てたのではなく更に深めて模索されています。資金や場所の問題もありますが、集客見込みも大きな要因ではないかと思っています。
産業経済部参事	補足させていただきます。起業セミナーの中身ですが、女性セミナーの場合はやる気の部分、やってみたい、やりたいという元気のある方が多いです。一方シニアセミナーでは考えはあるのですが踏ん切りがつかないなどその辺が大きな違いかと思っています。事業計画を綿密にやられるのですが、思いが障害になっているのではと私は思っています。
牛尾昭委員	商工会議所で創業の相談が多いのはエステやカイロプラクティックだそうです。これを見ていると創業はそんなにお金がかかるわけではない、一定の資格があればすぐ出るし、資金面がそんなにハードルになるとは思えないわけです。とにかく40代のお母さん方で起業したい方が結構いらっしゃる。このセミナーを企画した当初はシニアパワーをどうするかが一方のテーマだったと思っていますが、そうすると目的を果たしていない。シニアセミナーの実績を見る限りミスマッチしているのではないかという気がします。60歳過ぎた方で何かしたいという方は山ほどいます。今後のセミナーのあり方についてはシニアパワーをうまく利用するためにはそれにあったセミナー展開が必要だと思いますが。
産業政策課長	来年度については予算が可決されたならばの話ですが、女性向けセミナーについては継続させていただこうと思います。シニア・若者向けセミナーはシニア世代の参加が少ない現実があります。今年度は島根起業化スクールと競合しましたので、来年度は島根県と事前に話をして効果的なセミナーを開催したいと思っています。場合によっては協働でやるかもしれません。
牛尾昭委員	ぜひマッチングできるようなシニアセミナーを開催していただきたいと思います。
原田委員	創業セミナー実施状況を見て、創業意欲がある方もおられると実感しました。創業されている方が26年5名、27年は3名ですが、創業された方は順調にされているのか、実際にされている方が問題点をご相談していることがあれば内容を伺います。
産業政策課長	2番の受講者の創業状況のところに記載してある方々が現在操業中です。各店舗について現在のところ順調に営業されています。経営上の問題点については、商工会議所あるいは商工会などの経営指導員に相談されています。直に浜田市に相談はされていません。
笹田委員長	他にありますか。 (「なし」という声あり)

笹田委員長

ではこの件については以上とします。

(2) 三隅発電所2号機建設に伴う受注希望調査の状況について

笹田委員長

執行部から報告をお願いします。産業政策課長。

産業政策課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

説明が終わりました。委員から質疑はありますか。

飛野委員

第1回目分として227件ということで関心の深さを感じています。具体的にこの事業の流れを伺います。市の立ち位置はリストの作成と提出と思います。あと中電側とこの受付団体と経由するなかで営業活動のやり取りが生まれると思いますが具体的に説明をお願いします。

産業政策課長

自主希望調査票でリスト化します。中国電力さんと平成30年に工事が始まりますが、受注業者さんに対してリストをお渡しします。提供した後ですが、行政としてやるのはそこまでで、その後については各事業者様に個別に元請けさんと受注業者さんへ営業していただき、工事なり物販サービス提供なりを受注していただきます。

飛野委員

市も含めて受付団体も含めて、営業活動的には直接元請けなり下請けなりの個々の営業活動と捉えてよろしいですか。

産業政策課長

そのとおりです。

産業経済部参事

リストをもとに企業と元請けが相互に営業活動をしてもらうということですが、市としてはできるかぎり地元へまた浜田市へ仕事がおりにように働きかけを中電にしていますし、中電も元請けに対して地元への配慮していただくようお願いしていますので可能な限り地元へ工事、サービス関係が受注できる環境になるのではと考えております。

飛野委員

是非ともそうしてください。出来るだけそういう方向性を作っていただきたい。あと工事期間中の宿舎の問題もこの中に入っていると思います。その部分はだいたいどのように分析されていますか。対応出来るかどうか。

三隅防災自治課長

中電から空き地の提供の依頼がありました。作業員宿舎、事務所に。三隅自治区として22ヶ所の空き地の提供をしています。行財政改革推進課から、三隅以外の空き地の取りまとめを行って中電に提供しています。三隅自治区では空き家調査もしています。まず空き家バンク登録をし、登録された空き家の中電さんに活用していただこうと思っています。改修も必要になりますが空き地、空き家を活用してもらい経済効果を狙っています。

飛野委員

ほぼ対応は出来ていくのでしょうか。見込みは。

三隅防災自治課長

最大2000人程度の方が1日に来られます。定期点検も1800人が来られていましてとても三隅だけでは賄いきれません。話を聞くと益田、浜田市内はもちろんのこと萩まで宿泊される状況です。何とか空き地や空き家を提供して浜田に滞在していただいて経済効果を狙いたいです。

原田委員

受注希望者はどなたでも受け付けられるのか、会社規模あるいは資格要件なりが出されて審査があって正式に受け付けられるのでしょうか。

産業政策課長

審査等はございません。法人、個人、どなたでも大丈夫です。

産業経済部企画監

三隅発電所2号機経済対策協議会の浜田市、益田市、浜田商工会議所、益田商工会議所、浜田商工会の5つが集まって構成団体になっています。浜田市と益田市の業者さんそれと今の商工団体さんに加盟している方です。これに入っていない方は対応しかねます。

原田委員

基本的には全ての業者さんが対象ということですか。

産業経済部企画監
牛尾博美委員

そのとおりです。

広島開拓室も含めて誘致企業に走っているわけですが、これは既に決まった事業で、今から建設するにあたってCO2の問題が世界から日本は石炭の使用について問題視されているなど紆余曲折あると思いますが、粛々と浜田市も進めていかなくてはいけないと思います。誘致しているわけなので、やはりプロジェクトチームを作らないといけないと思います。商工会がやる、益田がやるとかじゃなく、窓口を1本化して申請のあった方にアドバイスしたほうがいい。誘致企業が来たけどどうやって浜田市益田市が物流や人の流れも含めて、市内の業者を儲けさせてあげられるかが課題だと思います。1つの大きなプロジェクトを作るのはどうですか。

産業経済部参事

プロジェクトチームではありませんが、三隅発電所経済対策協議会を作っています。今回のリスト作成や働きかけについては経済対策協議会が窓口になっています。ここをプロジェクトとして今から実際動き出します宿泊や物販や工事関係などありますが、経済対策協議会の専門委員会という組織がありますので、その中でしっかり連携して地元で金が回る流れを作りたいと思います。

牛尾博美委員

そういうのを1本化しないと中電も困ると思います。島根旭の刑務所の件ですが、納入業者がかつて一体となってやりました。その規模を拡大して。そういうことも含めて態勢づくりをちゃんとして、皆さんの意見を中電に通して、きちんと物が言えるような仕組みを考える必要があると思いますがどうですか。

産業経済部参事

窓口としては今まで中電さんとも協議する中で検討してまいりました。窓口が複数あったのですが中電さんも困るということで、その窓口としては経済対策協議会になるということで進めています。実際に動き始めて、建設関係についてはどこどこが中心に動いたほうがいいとかあるかとは思いますが、そういったことになれば、また、専門的な部署を設けていかなくてはいけないと思いますが、当面は経済対策協議会が窓口になり、三隅支所に専門の者を配置して対応していきたいと思います。

笹田委員長
牛尾昭委員

その他ありますか。

2号機工事の物販関係の経済効果について。それから固定資産税見込み、石炭輸入額が増えて貿易高が上がると思うのですかその辺の見込み、隔年点検が毎年点検になると思いますがどのくらいの経済効果を見込んでいるのか分かる範囲で教えてください。

産業政策課長
牛尾昭委員

手元に資料がございません。申し訳ございません。

常任委員会は条例で定められた委員会で、所管事務調査権というのを付与されています。それに則って我々は所管事務調査でやっているわけなので、市民を背にしてやっています。皆さん期待しています。やはり2号機ができると固定資産税がこれくらい入ってくると1号機のときに25億円あったけど交付税算入があるからカットされて真水は5億円だとか、石炭の輸入額についても今の倍くらい石炭が入る見込みができると思います。それと定期点検についても相当の経済効果があるということで隔年が通年であるわけですからどのくらいの効果があるかは担当課として掘り込んでいただいて、2号機による波及効果もそうです。例えば100億を越えるとか、荒っぽい数字を掘んで、新聞社さんも来ているので大きく取り上げてもらうような答弁をしてもらいたいです。後で結構ですので教えてください。

笹田委員長	他にありますか。
	(「なし」という声あり)
笹田委員長	ではこの件については以上とします。先ほど配布資料に漏れがありましたが休憩中に用意できますか。
	(「はい」という声あり)
	では暫時休憩します。再開は11時25分です。

[11 時 12 分 休憩]
[11 時 25 分 再開]

笹田委員長 産業政策課長 三隅支所長	会議を再開します。先ほどの経済効果について産業政策課長。 (以下、資料をもとに説明) 定期点検の補足ですが、法の改正がありまして隔年点検ではなくなっています。直近で申しますと平成30年に点検があります。11月から工事が始まりますのでその前に点検したいという考えだと思います。それ以降は未定です。
笹田委員長	はい。次へまいります。

(3) 海底資源開発の状況について

笹田委員長 産業政策課長 笹田委員長 牛尾昭委員	執行部から報告をお願いします。産業政策課長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。委員から質疑はありますか。 風の噂で聞いたので真偽は分かりませんが、相当有望だが萩市の方が有利ではないかと聞いたのですが、例えば基地を作るとすれば浜田市が適地なのかそうでないかということがあるとは思いますが、それに対してセールスというかアピールというか誘致活動は市としてお考えになっていますか。
産業政策課長	ご指摘のあった萩市有利の噂は市では感知していません。PRについては今後やっていく予定です。県国、事業者への要望活動を早期の段階で実施するようにと市長から指示がありまして進めています。
牛尾昭委員	県と一緒に頑張って営業活動されるべきだと思いますので、ぜひ取り組みをお願いします。
笹田委員長	他にありますか。
	(「なし」という声あり)
笹田委員長	ではこの件については以上とします。

(4) 元谷団地の応募状況について

笹田委員長 農林振興課長 笹田委員長 串崎委員	執行部から報告をお願いします。農林振興課長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。委員から質疑はありますか。 A社28区、B社5区で募集用地が32区で28と5足せば33区ですがどのように理解すればよろしいですか。
農林振興課長	B社は農業参入ということで当初の32区画とは別枠で5区画確保して受け入れ準備を進めてきました。
串崎委員	審査会は市長が判断されるということですが、どのような方が審査会メ

	ンバーでしょうか。
農林振興課長	県西部農林振興センターの普及の方、J Aの方、農業委員会、各支所の課長さん方です。
串崎委員	B社の養液栽培野菜はかなり機械、施設代が高くつくと聞いていますが、機械、施設代についてご存知ですか。
農林振興課長	2か年に分けてハウスを建設されます。各1年に4億5000万ずつ、総事業費は2年で9億円と聞いています。
原田委員	今までも何度も言っていますが、優良農地は出来ても周辺はものすごく荒れています。来年からは制度もなくなる。全体的なことを市はどのように考えておられるのか分かり難いです。2つの団地ができます、しかし他がどんどん荒れています。今福地区なんか荒れている。一緒に抱き合わせでやってもらわないと、いくら新開団地や元谷団地が良くなっても周辺が荒れれば意味がないと思います。波及効果が出るようなことをやってもらわないと、元々の住民は難儀しています。新しい農地を作っても意味がないと思います。
農林振興課長	12月議会でもお叱りを受けたところですが、まずは浜田全体の生産額をあげていく。周辺の農地に関して今は個人個人で米作りは難しい状況ですので弥栄でもやっておられますが集落農業を展開していく。併せて中間管理事業があります。浜田は面積が増えないと国から叱られた経緯がありますが、今は徐々に増えています。国の事業なり集落営農を展開をして地域の小規模農業を支援したいと思います。
原田委員	それはいつも言われるんですが、実際どこまで進行しているんですか。今やっている人は70代、10年すれば80代。どういった方法でこれからやっていくのか目に見えてこないの、農家の方も我々に強く訴えられます。J Aなり農業委員会と一緒にあって、こういう問題を真剣に考えていただかないと。毎年同じような返答をもらっても全く進んでいません。経済の縮小にも繋がっていきます。全体的な計画はどうなっているんですか。もうちょっと説明してもらいたい。資料館については市長も何度も出て説明されていますが、それだけ余力があるなら農業に対しても中山間地にでて説明するとか皆さんの意見を聞くなどやってもらわないと困ります。同程度に力を入れていただきたいです。これは強く要望いたします。
農林振興課長	担当課としても、集積の面積が伸びないとか、集落営農組織も弥栄自治区以外ではなかなか進んでいない現状は充分承知しています。J Aや農業委員会、農林振興センターも、もっと地域に入っていくような形で農家の支援をしていかねばと思っています。来年のことは自分では言えませんが次の課長さんにはきちんと伝えて退職の日を迎えたいと思います。
産業経済部長	今年が水稻作付最終年度です。全国の米がだぶついている。島根県特に浜田市は50ヘクタールの減反指示が出ました。水稻だけでも30ヘクタール以上の減少になっています。ある程度は確保しましたが、米で農地を守るのはもう厳しい状況です。今後は今有効な農地を他の転作やハウスもあると思います。浜田の中で突出して農業関係の収入が多いのが金城です。金城は各自治区から見るとかなり突出した農業算出額を持っています。ピオーネの面積の拡大など他の作物の支援を強めていかないといけないと思っています。それから鳥獣問題も1千万円を越える被害が出ているので対策しなければなりません。やはり基盤整備に重点を置かないといけないと

原田委員 笹田委員長	思っております。 しっかりやっていただきたいと思います。 引き継ぎをしっかりお願いします。ではこの件については以上とします。
---------------	--

(5) しまねお魚センターの状況について

笹田委員長 漁港活性化室長 笹田委員長 布施委員	執行部から報告をお願いします。漁港活性化室長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。委員から質疑はありますか。 売上も減ってきて、魅力がないという反省を聞きました。魅力がないということはわかっているのに手を打ってこなかった部分もあると思います。市に問うてはいけないかもしれませんが、お魚センターはどのお客さんを見て商売をされているのか。観光客か、地元民か。地元の利用が少ないのが根本ではないですか。そこに力を入れないと、新しいスーパーを入れても伸びるものも伸びません。物を売るときには目に見えないところのお辞儀をしたり宣伝効果をしたりあらゆる所で地元のものを買おうと努力しないと売上など上がるわけがないです。昔は地元の人利用をしていたわけです。なぜ地元民が離れていったかを分析しないと、いくら市が指示しても上手くいきません。
漁港活性化室長	本来地元の人に利用していただき、口コミなどで市外の方の誘客につながっていたと考えおります。原点に立ち返るということで営業時間の変更をするなどの努力をしましたが、なかなか地元のお客さんに戻ってきていただく狙いが奏功していません。現状としては観光客に対応している点が大きいので売り上げの低迷につながっていると考えております。販売促進機構が助力しても一過性ではいけないので、支援だけではなく意見を言う、副市長と部長が取締として入っておりますので取締役会を通じてそういう話を会社に対して行っています。
布施委員	こういった施設は漁港の近くにけっこうあります。同じ条件でありながらこれだけ格差があるということは、問題点が浜田お魚センターにあるんだと思います。分析して、実際にやらないといけません。何のために宗像の店長を呼んで講演してもらったのか。全然活かされていないと思います。是非取り組んでももらいたいと思います。
漁港活性化室長	賑わっている物販施設を参考にしていけないと思っております。もっとも有効な手段として直売方式による安くて新鮮なものを売るのが求められているとは思っております。そのへんも含めて検討を進めたいと思います。
串崎委員 漁港活性化室長	大変厳しい状況は把握しています。7月だけ好調なのは何故ですか。 7月はロングサマーセールということで、7月から8月中旬までセールの取組強化をされました。それに関連して夏のお中元で水産加工品をお買い求めになる方が多かったものと分析をしております。
串崎委員 牛尾昭委員	良い例を参考にすべきだと思います。 石見部全体の入込客が落ちているのでここも落ちるのだろうと感じています。お魚センターは周辺100km商圈だということで最初計画を立てたが県外の人をターゲットにした単価設定でやってきて景気がしぼんできたためにこのようになった典型的な例だと思っています。棺桶に片足突っ込んだような状況を立て直すのは誰が考えても難しいことです。どんな手を打

漁港活性化室長

っても起死回生は難しいのが実態だと思います。ここまで落ちたなら、もう少し思い切った市内にもスーパーがそれぞれしのぎを削っているわけです。しまねお魚センターの使命はどこかで終えたんだらうという認識も必要なのかなと。高度衛生管理型荷さばき所ができるので新しい考え方で新しい施設を作っていくのも一つの考え方ではないかと思っております。お互い知恵を出しながら、瀕死のしまねお魚センターを立て直すのも重要なことです。関係者皆さんでもう一度、検討していただきたいと思います。

牛尾昭委員

2年半携わっていた中で抜本的な改善が出来なかったことは大いに反省しております。他の施設との併設など含めて市としての考え方はしっかり示していかなければならない時期なのかと感じています。その辺はいろいろな方と相談しながら検討を進めたいと思います。

この3年間、家賃も含めて手厚い、今までないような施策を打ちこんでしまねお魚センターの活性化を図るものの成果が出ないということは、このセンターの使命の先がだいぶ先が見えたんだらうと思います。当然中に入っている方の支援していく観点からも将来ビジョンをどのように組み立てていくか、5年10年ここにしがみつくのではなく、新しい形の絵を描いていくという、仲卸のこともありますので併せて考えていかないと難しいと思います。そこで長いこと頑張っている方もいらっしゃるので、そういう方も尊重しながらも、新しい絵を模索することも必要ではないかと思えます。

笹田委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

笹田委員長

では暫時休憩します。再開は13時30分とします。

[12 時 03 分 休憩]

[13 時 23 分 再開]

笹田委員長

会議を再開します。

(6) (一社) 浜田市観光協会の事務局長について

笹田委員長

執行部から報告をお願いします。

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

説明が終わりました。委員から質疑はありますか。

布施委員

結局はマネジメントできる事務局長として市の職員を派遣しないと、人材育成が出来ていなかったということだと思います。3年かかってできなかったことを1年でできるんですか。

観光交流課長

この3年間である程度成長があったと考えております。問題になったのが、現在の観光協会の業務内容です。業務内容も多いですし多岐にわたっています。事務局をやっていただけの方を探すのが大変ということがありました。業務量も協会がやるべきもの、観光案内や観光情報発信を中心に業務の見直しをしてスリム化をしたうえで協会の事務局長の選任もこれまでとは違った形で人選できると思っております。

布施委員

一般社団法人になった観光協会の役割があると思います。今は仕事に追われている状況だと思います。昔に比べてイベントが多くなりました。浜田市最大のイベントは浜っ子夏まつりだと思っておりますが、その業務量も

	大変だし、人的にも大変です。体制が書いてありますが事務局長が1名で正規職員が4名でちょっとした組織です。事務局長は全て命令して結果を求めて一つの事業を成功させていくわけですが、自分で受ける方が多いと思います。同じ人を派遣してもよろしいですが、本来、何のために職員が派遣されたのか。正規職員がいるわけですから全体で事業を細分化してやっていかないと、また1年後には同じことを繰り返すことになります。課長の言われることも分かりますが、そこをしっかりと延ばさないと同じ結果になると思いますがどうですか。
観光交流課長	平成26年度から職員を事務局長として派遣をしました。当初は社団法人となって市との連携強化と事務処理の円滑化を中心に2年間職員を派遣することとしていましたが、28年に1年間は延長しましたが、この時点では観光協会のプロパー職員に担当を設けて、事務局長が指導しながら一緒に事務をやっていくことで人材育成しようという狙いはありました。一定程度の成果は上がったものと思います。ただ、プロパー職員さんを事務局長になるとまだハードルが高いと思っております。それと事務量の精査を含めて29年度はこういう方針にさせていただきました。
笹田委員長	その他ありますか。
笹田委員長	(「なし」という声あり)
	ではこの件については以上とします。

(7) きんたの里の現状について

笹田委員長	執行部から報告をお願いします。金城支所産業課長。
金城産業課長	(以下、資料をもとに説明)
笹田委員長	説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
串崎委員	大変厳しい状況だと思っています。人口減少等々の影響かと思っています。どのようにすれば何とかなるというお考えはお持ちですか。
金城産業建設課長	26年、27年と比較したところかなりのコスト削減をされています。ただし、来場者が年々落ちていきますのでそこを改善しないといけません。営業担当が今回新しく配属されたので、営業、PR面を29年度は強化したいと思っています。
金城支所長	宿泊者数がかなり落ちています。広島からのお客さんが減っています。宿泊の方を戻す対策をしたいということで、営業に力を入れようということです。
串崎委員	営業担当者を配置することで打開しようという話です。職員が1名増えたということでもいいのですか。
金城産業建設課長	そのとおりです。
串崎委員	役員さんは何人くらいいらっしゃるのですか。
金城産業建設課長	正規職員は12名です。役員の方は取締役社長と管理職の2人です。
牛尾昭委員	1月の終わりだったか、常務が退職されると聞いて驚きました。5年間ここで経費削減に頑張ってきた常務がそういう形で辞められて。役員は交代して役員が入られて営業がこられたということは人件費は膨らむのでしょうか。そういう認識でよろしいですか。
金城産業建設課長	今後、会社の考えもあろうかと思っております。
牛尾昭委員	全体的に数字が落ちていて心配しています。やめられた方をよく知っているのかばうつもりはないですが、あれだけ本気で一生懸命やられてい

	た方が部下に責任を取らすよりも自分が辞めるべきだろうということで辞められたということで。本気で改革しようとしていた人間が辞めるということできんたの将来を心配しています。市報の中に割引券が入っていたり、十分な努力をされてきた上でこのような結果になるということは、非常に危機的状況だと思います。
笹田委員長	その他ありますか。
	(「なし」という声あり)
笹田委員長	ではこの件については以上とします。

(8) 旭温泉水有効活用起業者の現状について

笹田委員長	執行部から報告をお願いします。旭支所産業建設課長。
旭産業建設課長	(以下、資料をもとに説明)
笹田委員長	説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
	(「なし」という声あり)
笹田委員長	ではこの件については以上とします。

(9) ゆうひパーク三隅の現状について

笹田委員長	執行部から報告をお願いします。三隅支所産業建設課長。
三隅産業建設課長	(以下、資料をもとに説明)
笹田委員長	説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
串崎委員	12月1月、意外と落ちてないなど。6月から11月は昨年実績から比べて目標が全て小さい。10月は昨年を上回っていますが。なぜ今まで実績を超えてきているのにもかかわらず実績を下回る目標を設定されていますが考え方はどうなのでしょう。
三隅産業建設課長	平成27年度の定期株主総会で道の駅から提示され承認された売上目標です。前年度伸び率が高く10%近くの売り上げ増となりまして、それを基準に目標を設定するのは厳しいだろうと判断しました。27年度の目標金額に対して2.4%の増という目標を立てられました。実質27年度実績の96.5%を目標設定ということになっています。売り上げの差でいいますと26年度の売上金額と27年度売上実績の中間あたりの目標設定となっています。28年度の決算においてプラマイゼロか営業努力によりまして若干のプラスになるように設定されています。
串崎委員	言われることは理解しましたが、目標に向かってやるべきだと思いますので疑問に思います。イベントはお考えですか。
三隅産業建設課長	イベントについては今まで通り定期の春夏秋にあります。その後、レストランについては目的に来られる一定の固定客がいるのですが、販売所についてはここに来ないとなないというものがないので苦戦をしています。道の駅で検討されているのが大々的なイベントというよりも毎月毎週、毎日曜日に何かの日、例えば第1日曜はフリーマーケット、第2は野菜、第3日曜は三隅の日、第4日曜は焼きパスタの日という提案がされています。大型のイベントではなく小さい取り組みをして、それをやっていますという情報発信に力を入れようとしています。
牛尾昭委員	以前ゆうひパークのデータを貰った時、入込客かレジ通過客か何かのデータがあったと思いますが。
三隅産業建設課長	決算時には入込客数も出せますが、上期分の決算の取締役会の場合は販

	売所、レストランはありますが自動販売機の数字が上がりませんので報告をしませんでした。これは上期なので6月から11月の数字になりますが合計で27年の上期が3万4703人。28年の上期が3万3402人で96.3%です。これは自動販売機を除いた販売所、レストランの比較です。
牛尾昭委員	開通前とあまりかわらないということですね。最近Facebookでよく見るイベントを見て頑張っておられるなどと思っています。道路に看板を立てるというので期待していたのですが、折角瑞風が通るなら瑞風の絵でもあれば客引きできるかなと思ったのですがもったいないなと思いました。バイカーも多いのでその方に対する手当が必要かと思います。週ごとに小さいイベントをやるというのは、早くやって欲しい。実行しましたという話なら良いですが、そのうちやりますと言うばかりでいつやり始めるのか分からないのが行政ですから。フリマや朝市などをやるべきだと思いますので早めの実現できるようにゆうひパークにお願いをしてください。
三隅産業建設課長	週ごとイベントは4月からやりたいと思っています。あとバイクの件ですが、これも以前から国交省へ要望しています。夏場はアスファルトだとスタンドが立てられないのでコンクリートで舗装したバイクの駐輪場をお願いしています。
牛尾昭委員	栃木県小山の道の駅を視察した際、月刊スケジュールのチラシを入れられるそうです。フェイスブックだけだと広がり狭いので出来れば月刊チラシ等、市民に分かり易く頭に入り易いものを作る工夫があれば、定着するまではそういう工夫をされた方が良いでしょう。
三隅産業建設課長	道の駅だよりというのを年3回発行していますが、それを毎月出したいと協議しています。とりあえず4月号の集落回覧でと思っています。それが難しければ公民館単位にチラシや広報に努めます。
布施委員	三隅道の駅で恐喝事件がありました。市として防犯カメラをゆうひパーク三隅に限らず観光地に設置する要望は出ていますか。整備したいという相談が三隅支所に寄せられていますか。三隅ゆうひパークの取り組みを聞かせてください。
三隅産業建設課長	ああいった事件があり、検討したかと言われると検討していない状況です。必要だと認識はしていますが、市側で付けるべきか指定管理者側で付けるべきかの問題も検討していきたいと思っています。
原田委員	三隅に行った帰りは必ずここに立ち寄ります。焼肉定食を食べると1枚券をもらえて10枚集めると1食提供していただけるのですが、こういったことを進めていただきたいと思います。店舗、自動販売機等の売上が合計実績で上がっているんでしょうか。
三隅産業建設課長	売上金額は3部門の金額です。割引券10枚は意外に利用が多いです。あまりPRしていませんので道の駅だよりなどで広めていきたいと思っています。
原田委員	是非進めていただきたいと思います。
笹田委員長	その他ありますか。
	(「なし」という声あり)
笹田委員長	ではこの件については以上とします。

7. 執行部報告事項

(1) 「事業承継に関するアンケート調査」実施状況について

笹田委員長 | 執行部から報告をお願いします。産業建設課長。

産業政策課長
笹田委員長
牛尾昭委員

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わりました。委員から質疑はありますか。

今日の山陰中央新報の社説が何かに載っています。100年以上続く酒屋が辞めるということで若い人に譲るということでした。その譲る方は事業承継があるのを知りませんでした。そういう制度があるというのが一部の方には伝わっているけど広く浸透していない。事業承継で上手く繋がるように、またそれが目に見えるように、システムとしてちゃんと見えれば手を挙げやすいと思います。それによって廃業なら手元に1円も残らないけど受けてくれる方がいれば手元にお金が残るというシステムがあればつながっていくと思います。会議所に指導員さんがおられるがいつも机に座って外に出られるわけではないので情報は受け身です。市役所にだけやれというのはおかしいのですが、ぜひ経済部で検討していただきたいのですが。

産業政策課長

ご指摘のとおりです。事業承継という言葉の認知度がまだ低いです。私もこの言葉を聞き始めたのは2年経っていない状況です。事業承継という重要な問題があるのだと認識した次第です。事業承継推進員がいわみプラットに2名います。島根県全体を管轄する別の方がいますがそういった方々と浜田の商工会議所、石川の商工会と事業承継の担当の方と一緒にしまして、今回調査したアンケートをもとに相談業務、事業承継に対する支援制度の紹介を行いたいと思います。商工団体と一緒に頑張って事業承継を周知するためにイベントをしてみたいと思っております。

牛尾昭委員

企業セミナーの中でも情報を流してもらうと起業したい人が増えると思います。

(「なし」という声あり)

笹田委員長

ではこの件については以上とします。

(2) 広島市場開拓室の事務所移転について

笹田委員長

執行部から報告をお願いします。

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長
原田委員

説明が終わりました。委員から質疑はありますか。

今までも移転を言われ続けていたにも関わらず拒否していたのに、何故今になって移転するんですか。行革のことや効率化のこともあるとは思いますがその他に重要な点がありますでしょうか。

広島市場開拓室長

さらに行財政改革を進めるという浜田市の強い方針に基づきまして今回、事務所を一つにすることになりました。開設時にすればよかったのですが、当初の広島市場開拓室のミッションが販路開拓、企業誘致、ポートセールスでした。PRセンターが観光誘客という別々のミッションがありますし、広島市場開拓室が新たに出るなかで合銀ビルに島根県事務所や浜田市が業務協定を結んでいる山陰合同銀行がありましたのでまずはそこと一緒にすることがいいのではということで決められたと私は推測していますが実際に合銀ビルに入っていますが県事務所や合銀にいい関係を築いています。非常に良かったと思いますが、各議員から指摘あって行財政改革をさらに進めるということで今回の事務所の統一となりました。

原田委員

何か調査等をされて移転を決定されたのでしょうか。メリット、デメリットを参酌しながら調査をしてこの結果になったのか。

広島市場開拓室長

事務所を一緒にする方針を決定した際、ではどこにするかとなった場合、

それぞれのメリットとデメリットを総合的に判断して決定しました。商工会議所ビルはいろんな経済界の人もいますし、広島PRセンターは旧金城町時代から20年になります。毎日のように人が来られてサロンの役割を担っておられます。それが年間延べ11万2000人の誘客につながっているのでは思っております。場所が狭いというデメリットもあります。合銀ビルは面積が広いというメリットはありますが、広島市場開拓室の活動は営業活動で主に外回りですので狭くなっても活動に影響はないということで商工会議所になったわけです。

布施委員

最初からやるべきだったのではという思いです。家賃が浮いて。今回は組織的な統合ではなく事務所移転のみということが書いてあるのですが、次ということを示唆しています。これはどういうことですか。

広島市場開拓室長

事務所が一緒になるメリットは、事務所の賃料です。共益費、清掃委託費など合銀ビルの事務所関係経費が年間約250万となっているのでそれが完全にコスト削減となります。当面、10月は2つの組織が同じ事務所で広島市場開拓室とPRセンターの看板を掲げて活動します。将来的には、例えば広島県島根事務所がありますが、浜田市広島事務所というような体制も検討すべきではと思います。

布施委員

早くするべきだという思いはありますが、何故年度当初からやられないのか。主張は分かります、準備期間もあるのですが、早くやればやるほど行財政効果がでるわけですが、上半期分延期するのはなぜですか。

広島市場開拓室長

移転の方向性が出たのが2月中旬です。不動産契約解除をするには半年前でないといけません。それを勘案して10月1日としました。

牛尾博美委員

別々の組織が同じ所でそれぞれやるということだと思うが、行革も必要だが一番問題なのは同じ場所にいて人脈も情報共有しながら人脈を辿って、いつも連携できることをプラスに変えて行かないと。目指すは浜田のためですから、改めて認識していただきたい。

広島市場開拓室長

せっかく一緒になるので情報共有や連携強化することによりお互いの活動領域にメリットが生まれることが最良です。最大のメリットはコスト削減ということもありますが、今までもPRセンターと連携は図ってきましたが、同じビルに行くことによってさらに連携を深め強化することによってお互いの良い結果を生み出していきたいと思います。

牛尾博美委員

良い形になるよう頑張ってください。

笹田委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

ではここで委員外議員の発言を許可します。森谷議員。

森谷議員

これは、行革というよりも最初から無駄なものが発想されたわけです。市長の発案で。誰もがその時に無駄だと思っていたわけですが、ひょっとして東大出た人が考えるんだからちゃんとしたものかもしれないと思っていたわけですが、何にもほとんど効果が上がらないまま行革という名の下にコスト削減のもとになくなってしまふ。縮小してしまふことになったことじたいがおかしいですよ。大きく3つ質問するのですが、1は目的についてですが、本来少ない人間で効果を上げることを考えなければなりません。目的について説明がありましたが、開拓室側は浜田市職員が企業誘致という目的をもっているということで、PRセンター側は広島市民が観光誘客という目的で存在しているということですが、一見違うように思われる

かもしれませんが、営業先は同じです。スキル面で言うところのトップの高木所長という人は瀬戸ヶ島に温泉を掘ろうというときに私は傍聴をしていましたが、委員という形で来ておられまして、他のところが舞い上がって成功例、成功例と言って、その時に手を上げられて失敗例について検討する必要があるのに何故失敗例について検討されないんでしょうかと、その委員会では失敗例について検討しますといいながら永久に検討されないで終わりました。この人は充て職の委員とか市役所の顔色を伺って進める委員ではないんだなとちょっと違うなと思ったのが最初の印象でした。箱物はほとんど失敗に終わっているのにどうして失敗例を検討しないんだということを言っています。私は開拓室にも、PRセンターにも何回か行っていますが、開拓室は倉庫を改造した事務所みたいなもので、張り紙もはがれてセロテープも貼っていない感じです。一方PRセンターのほうですが部屋に入ると汚いビルですが、あそこは別世界で素敵なオアシスのような感じです。会話から立ち振る舞いから非の打ちどころがない感じです。そこでPRセンターの人材はですね2人いますが、両方ともかなりの営業能力とか振る舞いの能力を持っておられます。一方開拓室ですが異動、異動ということで専門知識も徹底的に深彫りされているわけではないですよ。そして営業については素人同然なわけですよ。ここで成果を期待すること事態おかしいわけですよ。コストも毎年数千万でしょ。人件費カットの中で慣れない正職員が浜田から抜かれてきているわけですよ。戻してあげればいいと思います。その中で浜田から通うとかそういう目的はひとつのわけですからPRセンターに任せるということが一番良いではないでしょうか。スタッフについては広島PRセンター独自の意思で雇用してもらおう。そうしないとちょっと遅くなったらアパートが必要だ。ちょっとおそくなったらどうだ。広島のことはよくわからないから一から勉強するだということであつたら困るし。広島PRセンターとしてもやりにくいと思います。この経緯で急に決まるわけです。私が知ったのが昨日か今日か。急に決まったわけですから私らに連絡もなく。その経緯を教えてほしい。2つ目の目的ですが、広島開拓室は企業誘致ですが目的は。それがかなったとしても仮に100人企業が来たというふうになったとしても人手不足ですから従業員が手当てできないわけです。じゃあ給料を上げて手当てをするかですが浜田の会社から流れていくわけです。この中で広島企業が誘致したことによってのプラスは考えられないわけです。それから労働集約型といってIT企業のみみたいなものをやるといいますが浜田だけがやるわけではないですよ。何百という市町村がやってるわけです。ひとつだけが勝ち組になるのは考えにくいです。物流だということも聞きました。港の4号岸壁のところでは物流があつたら何が良くなるか。トン税が入るとか聞きました。それから港運会社に利益が入るとしかしロシア船で中古車を運ぶ……。

笹田委員長

森谷議員、質疑なので3つの質問を早くいつていただきたいのですが。意見は一般質問などで言うてください。

森谷議員

爆発的な輸出があつたのですが、その効果の検証できない。具体的に効果を示すこと。最後の3番目ですが、PRセンターに移るという話が今まで一切出なかった。この開拓室の問題にしても昨日私が開拓室に行ってお話をしたのですがその時にも一切でなかった。そこまで秘密にする必要があるのか。この流れについて聞きたい。企画監が開拓室をつぶすという企画

	をしたのであればたいしたものだと思うのですが、企画監自体の存在もよくわからない状態です。この大きく3点についてお伺いします。
笹田委員長	確認いたします。1点についてはこの経緯ということをきいているのですがそれでよろしいでしょうか。2点目は企業誘致の効果。3点目はPRセンターと統合する流れですか。
森谷議員	最初の目的は1つなのに2つになっているよりもPRを頭において人材を…
笹田委員長	1点目、浜田に帰らせる。2点目、企業誘致の効果…
森谷議員	2番目は目的を達成したとしてもその効果が実現できないわけだからやるべきではないということです。
笹田委員長	それは質問ではないですよ。やるべきではないという意見ですよ。効果について。3点目は……。
広島市場開拓室長	広島市場開拓室の目的ですが先ほど企業誘致といわれましたが、企業誘致だけではなく販路開拓……。
	今回10月に一緒になるということで先ほど森谷議員いわれたように開拓室の職員を返したほうがいいという意見もあります。そういう意見も真摯に受け止めて10月以降、今後広島での事務所の在り方について検討して今後どういった態勢が良いのか今後検討したいと思っています。
	2番の広島市場開拓室が企業誘致をしても人手不足で効果がないではないかという指摘ですが、ご指摘のように全国的に人材不足の傾向です。浜田、江津地区でも有効求人倍率が1.4前後ではないかと思います。人材不足の状況であるという認識はしています。ただし、都会に出た学生などが浜田に就職するところがないという状況もあるのは事実であります。我々広島で企業誘致活動を実際に行っていますが、企業がそのなかで話をしているのが重視しているのは、企業立地に関しては立地の適地です。県、市の助成金と雇用が確保できるかという3点です。もっとも重要視されているのがやはり雇用の確保です。浜田に企業を誘致した場合に雇用が確保できるのかという話も聞いていますが、広島企業も広島で雇用の確保ができないということで他の場所に事務所を移転するということが起きております。こういった状況が地方の自治体にとってある意味チャンスと逆に捕らえておきまして、来年度から浜田市においては産業政策課内に雇用対策係を新設するということがありまして、企業の雇用に向けた支援を強化するということがあります。そういった中で雇用対策係と広島市場開拓室が連携を図ることによって企業誘致を確保に努めてまいりたいと思います。3番の事務所がひとつになるという経緯ですが先ほど申し上げましたがさらに行財政改革を推進するという市の方針に基づきまして昨年の10月くらいから本格的に検討を始めたところです。最終的に事務所を1本化して今の広島商工会議所にビルを一緒にするということが正式に決まりましたのが2月の中旬という経緯です。
産業経済部企画監	補足をさせてください。最初の経緯は、これについてはそれぞれ目的が違うので2方向でやっていきたいと思いますというのがありましたが議会でも質問がありましたが、やはり連携しなければいけないだろうということで、では連携していこうと。その中で20年も金城町から始まって集客をずっとやっていらっしゃるPRセンターこれがもしガタがきたら大変だな。大切にしないといけないということが一番最初に走りまわったので、まずPRセンターがきちんと集客を年間1万2千人程度延べでやっていただいていますので、

これは大切にしましょう。となれば今のPRセンター外にでて働いていくということになれば机と椅子とパソコンがあればいいということなので事務所をひとつにして経費の削減をして連携をしてということになればPRセンターに寄るのがいいということになりましたのが経緯です。浜田に帰って出て行けばという話がありましたがそれについては今後検討しなければいけませんが、広島に出て行って週に2泊すると交通費と宿泊費と手当てなどで3万円くらいかかります。一人で4週間行きますと12万円です。今広島に住んでいる経費より高くなります。費用対効果をみながら一番コストのかからないやり方があるのかということと10月に一緒になるのですがそれを含めながら当然行革の観点から引き続きやって行きたい。2点目の企業誘致ですが効果はあります。我々につきましては100人の企業が来て云々ということがありましたが取引先の企業誘致をやっている中で労働集約型で人がいて体力だけ使ってくればいいという会社は誘わないという方向にしています。というのはそこに人が入って行くとよその企業から抜かれてしまいます。たかが1万円給料が高いだけで抜かれてしまいます。それは浜田のためによくないと思いますので技術力を持っているとかIT企業であるとか、給料が高いとかそういった企業で小さく生んで大きく育てるというところを回らせてもらっています。100名のところに当るかもしれませんが、100名の人がいますかという質問も受けますが、大変申し訳ないですがいませんとその場合は旭町に刑務所ありますので刑務訓練を使いながらやっていくことを考えませんかということもご案内しています。それについては大変な評価をいただいています。それと私がやめさせたということではなくて皆さんの総合的な判断です。

森谷議員

質問の答えにはなっていないですよ、わざとかもしれませんが。今の経済状況はあなた方が言われたように人口は減っている、人手不足である。そういう中で企業誘致というのは逆風の中で成果をあげようとしていることなので非常にエネルギーがいることで、宝くじを当てるようなものです。それはやってはいけないことです。PRセンターのスキルが桁違いに高いわけです。来原さんが言われた出張したらコストがといわれますけどそういう人を広島で嘱託職員級の給料で採用すれば交通費もアパートもいらないわけだし正職員ではないから違う給与のルールでできるわけだからよっぽどそちらの方が効果的だと思います。今まで企業誘致だとか労働集約型とか最近ぱっと出始めましたが成果として売り上げが上がっています。なんとかスーパーがこれだけ買ってくれますというふうに出てきましたが、ああいえばこういうって感じで矛盾したその場限りの質問回避型の回答なんですけど、もうちょっと私が質問したことに基づいて答えてほしいと思います。

笹田委員長

産業経済部企画監

さっきの質問の再度ということですのでよろしいですか。

広島PRセンターで採用というのは今まで考えもなかったもので、効果があればそれも検討のひとつではないかと思います。後についてはコメントはありません。

産業経済部参事

企業誘致の関係で、ここで人材確保が出来るかということですが、たしかに人材確保は全国どこも同じだと思います。人口減少して行くなかで労働人口も減っていつていきます。このなかで人材を確保するということは人の取り合いなんです。非常にエネルギーがいるということは承知をしてお

ります。ですが浜田市年間700人の人口が減っていつています。人口が減り続けていくということは生活に関連するあらゆるサービスがなくなっていく、低下していくという状況になってまいります。それを抑制するのが人であり雇用であると考えています。人材確保はエネルギーも要りますし大変だと思いますが地元にいる若者にできるだけ地域に留まってもらう、あるいは都会に出て行った若者たちをUIターンでこちらに帰ってもらうという取り組みを市を挙げて取組んで行くことが浜田市の安定維持に繋がると思っております。放っておけば限らない速さで落ちて行くと思いますがこれを産業振興、企業誘致で維持させる。減少しても少しの低下で抑えるということが自治体の役目だと思っております。

森谷議員

明確に答えてもらっていないことを言います。ひとつは目的が違うと言われますが、同じではないですか。どういうことかということ。目的を達成するためにどこかに行きますが行き先は企業であり部長であり社長でありだと思えます。住み分け出来ないものだと思います。漁業でがんばろうとすると底引きと巻き網は別々ではなくて漁業一般じゃないですか、そういう屁理屈はやめてほしい。スキルは来原さんも佐々木さんだっている。高木さん、高橋さんがものすごいスキルがあることを。その人たちのスキルに任せるべきだと思います。浜田市の素人が行って足引っ張っても、あそこは広島のプロが息抜きにきたりするところですから在郷兵衛がいてもしかたないです。かえって息抜きができません。足を引っ張るようなものです。目的のことについてと。スキルのことについてどう考えるかの2点に絞りますからそれについて答えてください。

産業経済部企画監

目的は同じでしょう。ひとつで間に合うでしょうということです。基本的に浜田のためにやっている目的はひとつです。ただやっている業務については重なるところがありますが、当然違っているところもあります。それを連携しながらどういうふうにやっていくかはこれから考えていきたいと思えます。今の段階では全てが一緒とは思いませんしPRセンターにいらっしゃる所長さん、副所長さん、顧問さんは最高のスキルを持った方なのでとても大切に尊重していきたいと思えます。

(3) 漁業別水揚げについて

笹田委員長
水産振興課長
笹田委員長

執行部から報告をお願いします。水産振興課長。
(以下、資料をもとに説明)
説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
ではこの件については以上とします。

(4) 浜田漁港水揚げ資料 (2016年報)

笹田委員長
水産振興課長
笹田委員長

執行部から報告をお願いします。水産振興課長。
(以下、資料をもとに説明)
説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
ではこの件については以上とします。

(5) 平成28年 宿泊者数について

笹田委員長 観光交流課長 笹田委員長	執行部から報告をお願いします。観光交流課長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。委員から質疑はありますか。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。
--------------------------	---

(6) 弥栄町獣肉加工処理施設整備に係る補助金返還について

笹田委員長 弥栄産業建設課長 笹田委員長 布施委員	執行部から報告をお願いします。弥栄支所産業建設課長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。委員から質疑はありますか。 耐震化をするよりは補助金を返した方がいいということだと思いますが資料の2番に当時は耐用年数の記載はなかったということですが、今は明確な記載があるのでしょうか。
弥栄産業建設課長	今も変わらないのですが会計検査院が当然耐用年数があるのが当たり前という見解です。国や県も一緒になって協議をして会計検査院にも話をした経緯があるのですが理解をしていただけなかったということです。
布施委員	当時は耐用年数に関する具体的な記載がなかったからこのような状態であり、このたび会計検査院が来た時に指摘されてやるべきだと言われたのですが、耐震化するよりは補助金を返して営業を続けたいということだと思いますが、今、このような施設をするときには耐用年数がないと国からの補助金はないということもあると思いますが。
弥栄産業建設課長	明確なところはないです。耐用年数があるというのが前提なのだから、それをクリアした設計をなささいということです。
牛尾昭委員	現施設については建築事務所が目視で判断し、耐震性があるとはいいいがたいが倒壊の可能性が低いと判断したという記述があります。こういう記述があると僕らも納得しがちなんですが、一級建築士がどういう状況で発言したかは後で問題になるのではと思うのですが、例えば倒れて大きな事故につながったときに一級建築事務所が大丈夫だと言っていたということになりかねないのですが、これについては相手があることなので記入されるときにあなたが言われたことがこの資料に記載されますよと確認されないともしかしたら大きな問題になる可能性を秘めている気がするのですが、心配のし過ぎなら良いんですが、大丈夫ですか。
弥栄産業建設課長 牛尾昭委員 弥栄産業建設課長 牛尾昭委員	これは一級建築士からのコメントがあります。 正式にコメントを出されていると認識してよろしいですね。 文書でいただいております。 分かりました。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。

(7) 浜田市住宅マスタープラン(案)のパブリックコメント実施結果について

笹田委員長 建築住宅課長 笹田委員長	執行部から報告をお願いします。建築住宅課長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。委員から質疑はありますか。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。
--------------------------	---

(8) その他

笹田委員長

その他執行部から何かありますか。

(「ありません」という声あり)

笹田委員長

今回の報告事項について、全員協議会での報告事項をどうするか委員会として、報告をするもの、しないもの、資料の提出に留めるものの3つに分けたいと思います。

(1) 資料

(2) 資料

(3) 資料

(4) 資料

(5) 資料

(6) 資料

(7) なし

農林振興課長

元谷団地応募状況については、最終日の全協で提示させていただきます。

笹田委員長

ここで退職される課長さんにご挨拶いただきたいと思います。川神農林振興課長お願いいたします。

農林振興課長

(あいさつ)

笹田委員長

ありがとうございました。

執行部の皆さんはご退席されて結構です。採決に入る前に暫時休憩します。

[15 時 21 分 閉議]

[15 時 25 分 閉議]

笹田委員長

会議を再開します。議案の採決に入りたいと思います。

笹田委員長

○議案第 6号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について

本案は原案のとおり可決すべきものと決することにご異議ありませんか。

(「なし」という声あり)

ご異議なしと認め、全会一致で可決するものと決しました。

笹田委員長

○議案第12号 浜田市石州和紙会館条例の制定について

本案は原案のとおり可決すべきものと決することにご異議ありませんか。

(「なし」という声あり)

ご異議なしと認め、全会一致で可決するものと決しました。

笹田委員長

○議案第13号 浜田市運動広場施設条例の一部を改正する条例について

本案は原案のとおり可決すべきものと決することにご異議ありませんか。

(「なし」という声あり)

ご異議なしと認め、全会一致で可決するものと決しました。

○議案第14号 市道路線の認定について（有福56号線外）

笹田委員長	本案は原案のとおり可決すべきものと決することにご異議ありませんか。 （ 「なし」という声あり ） ご異議なしと認め、全会一致で可決するものと決しました。 ○請願第45号 雲雀丘小学校「落石注意」生活道路の安全確保に関する請願について
笹田委員長 牛尾昭委員	本請願について何か意見がありましたらお願いします。 この請願についてはほぼ同様の内容の請願が12月議会の総務文教委員会 で不採択となっています。よって一事不再議の運用によりこの案件は不採 択すべきものだと思います。
牛尾博美委員	もちろんそれは分かるんですが、生活道路として離合もできないとい うことで、都市建設が検討していくと言っていますので、あそこは笠柄と結 ぶ道の重要性もあり、生活道路としても市道としても、すぐにはできなく ても検討して改良する必要があるかと思いました。私は賛成したいと思 います。
布施委員	執行部の詳細な取り組みは聞きました。充分とは言えませんが、生活道 路としてこの道路は、根本的にはその地区の方が陳情を出されて整備する ものだと思います。請願者が田町と相生の方ということで、何故地元 住民から出なかったのかなとひとつ疑問に思います。12月にはほぼ同じ内 容で請願が出ていましたが、総務文教委員会のその際に前向きな答弁があ りましたので、この請願については不採択としたいと思います。
串崎委員	住民の方も色んな考えがあろうかと思いますが、賛成に回ろうと思 います。
原田委員	串崎委員が言われたように、必要だろうと思うので賛成したいと思 います。
飛野副委員長	あえてこの件に限らず、市内に同様の状況はたくさんあります。不採択 としたいと思います。
笹田委員長	暫時休憩したいと思います。

[15 時 32 分 閉議]

[15 時 36 分 閉議]

笹田委員長	それでは、再開いたします。採決は、委員会条例の規定により問題を可 とすることでお諮りします。 本請願について、採択とすべきものとすることに賛成の委員の挙手を求め ます。
笹田委員長	可否同数のため、委員長が採決権の行使をいたします。私もこの請願を 読んで執行部の意見を聞きました。そのところ以前から地域の方からの要 望もでていうことで前向きにしていけないといけないということで 私は賛成ということで宣言いたします。 よろしいでしょうか。 （ 「はい」という声あり ）
笹田委員長	以上で、産業建設委員会に付託されました案件の審査は終了します。

8 その他

笹田委員長

その他なにかありますでしょうか。

(「なし」という声あり)

それでは、委員長報告については3月21日の表決までに正副委員長で作成し、皆さんに目を通していただきよろしければ、議場に配布したいと思います。

以上で、産業建設委員会を終了いたします。

[15 時 38 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに産業建設委員会記録を作成する。

産業建設委員長 笹 田 卓